

主な記事

21年度予算 6つの柱	2面
定額給付金・子育て応援特別手当、 監査委員の選任	3面
高齢者関連サービス	4面
緑のカーテン モニター募集	5面
妊婦健康診査 助成など	6面



いなぎ



ホームページ <http://www.city.inagi.tokyo.jp/>
 携帯電話版 <http://www.city.inagi.tokyo.jp/i/>
 (左のバーコードを読み取り機能付き携帯電話で読み取ってください)

緑につつまれ友愛に満ちた
市民のまち稲城

人口と世帯

(平成21年4月1日現在)

人口	82,694人	388人増
男	42,065人	227人増
女	40,629人	161人増
世帯数	34,792世帯	292世帯増

世帯数および人口は、住民基本台帳
と外国人登録によるものです。

発行 東京都稲城市 編集 秘書広報課広報広聴係 〒206-8601 東京都稲城市東長沼2111 ☎042-378-2111 042-377-4781

21年度予算の概要

21年度当初予算が2月27日から開かれた市議会第1回定例会で、可決成立しました。

予算総額は、全会計で500億7,716万円で、前年度に比べ2.0%の増となりました。市の予算の中心となる一般会計の予算規模は269億8,800万円と、前年度に比べ2.6%の増となりました(下表参照)。

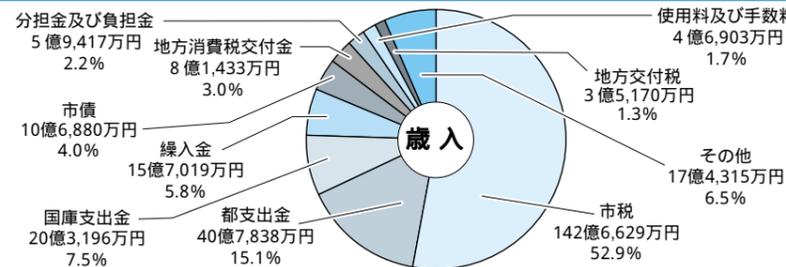
第三次長期総合計画に基づいた事業を中心に実施するための財源を確保し、市の将来都市像である「緑につつまれ友愛に満ちた市民のまち稲城」を実現するための、「心と心のふれあいを大切にしたい自立と共生のまちづくり」を基本理念に、施策を推進していきます。さらに、第三次行政改革による事務事業の見直しと行政基盤の確立、時代に即した施策展開を行い、健全財政を目指して編成しています。

21年度は、都市基盤整備 福祉・教育・医療の充実 市民とのふれあいと協働 安全と活力あるまちづくりの4点を重点に取り組みます。 問い合わせ 財政課財政係

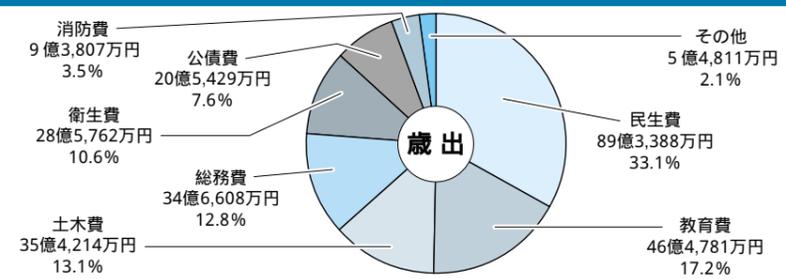
21年度会計別予算

区分	A 21年度予算額	B 20年度予算額	C 増減額 (A-B)	増減率
一般会計	269億8,800万円	263億800万円	6億8,000万円	2.6%
国民健康保険事業特別会計	70億7,328万円	69億3,145万円	1億4,183万円	2.0%
土地区画整理事業特別会計	21億9,909万円	25億4,652万円	3億4,743万円	13.6%
下水道事業特別会計	20億6,293万円	19億9,068万円	7,225万円	3.6%
老人保健特別会計	3,354万円	3億4,123万円	3億769万円	90.2%
介護保険特別会計	28億1,287万円	28億4,732万円	3,445万円	1.2%
後期高齢者医療特別会計	8億3,310万円	7億5,612万円	7,698万円	10.2%
病院事業会計	74億7,905万円	68億3万円	6億7,902万円	10.0%
受託水道事業特別会計	5億9,530万円	5億9,790万円	260万円	0.4%
合計	500億7,716万円	491億1,925万円	9億5,791万円	2.0%

グラフ1 一般会計の歳入当初予算額 269億8,800万円



グラフ2 一般会計の歳出当初予算額 269億8,800万円



市民一人当たりの一般会計歳出予算額 (328,429円)

総務費 42,180円	民生費 108,720円	衛生費 34,776円	土木費 43,106円
消防費 11,416円	教育費 56,561円	公債費 25,000円	その他 6,670円
議会費 労働農工商予備費			

人口は21年1月1日現在(82,173人)です。

定額給付金等は3面に掲載しています

主な新規事業

事業	内容	予算額
コンビニエンスストア収納代行業務委託の開始(市税・国民健康保険税)	個人市税・都民税(特別徴収を除く)固定資産税・都市計画税、軽自動車税、国民健康保険税を対象にコンビニエンスストア収納を実施します。	338万円
若葉台出張所移転(いづみプラザ内)及び仮設庁舎の撤去	いづみプラザの開設に伴い、若葉台出張所をいづみプラザ2階へ移転します。旧出張所については撤去し、借用地については、借用以前の状態で復帰して返却します。	497万円
健康診査料(脳ドック)の助成(後期高齢者医療制度対象者)	75歳以上後期高齢者の脳疾病発病の予防促進の一環として脳ドック検査料の個人負担に対する助成を行います。検査料個人負担の2分の1を補助(限度額2万円)、一人年1回	40万円
在日外国人等高齢者・障害者福祉給付金の支給	在日外国人などの高齢者及び障害者に対し、稲城市在日外国人等高齢者・障害者福祉給付金を支給することにより、その福祉の向上を図ります。	18万円
認定こども園の運営費等・利用者利用料の補助	認可保育所の待機児童の解消及び在宅の保育を支援する地域の子育て機能を有する認定こども園に対し、その運営費などを補助します。また、利用者に対する利用料の補助を行います。	5,148万円
子ども緊急ショートステイ事業の開始(児童福祉)	保護者が疾病その他の理由により、家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合に、緊急に児童養護施設において養育を行うことにより、これらの児童及びその家族の福祉の向上を図ります。	235万円
緊急雇用対策事業(公園緑地、小・中学校高木剪定)	都が公的雇用の創出に取り組むための緊急雇用創出区市町村補助金の交付を打ち出したことを受け、公園緑地、小・中学校の高木剪定を整えることで雇用の創出に努めます。	2,000万円
家具転倒防止器具助成事業	住居内の家具の転倒防止対策などを促進し、災害時の家具の転倒などによる被害を最小限に抑えるため、助成を行います。	1,100万円
特別支援指導補助員の配置(小・中学校)	20年度で早稲田大学との大学連携事業が終了するため、個別に指導補助員を配置します。	1,287万円
いづみプラザ整備運営事業	21年10月18日開館。(仮称)新文化センター整備運営事業事業契約に基づくサービス対価の支払いが始まります。	30,608万円
中央文化センターホールの緊急修繕	中央文化センターホール舞台吊物設備の老朽化により、定期点検で危険箇所などが指摘されていることから、緊急修繕を行います。	453万円

主なレベルアップ事業

事業	内容	予算額
小口事業資金等融資あっせん制度の拡充(利子補給率・信用保証料補助率の拡大・融資期間の延長)	開業資金及び設備資金について、利子補給率を2分の1から4分の3、信用保証料の補助率を2分の1から3分の2に引き上げ、融資期間3年及び5年のものについて、それぞれ5年及び7年に延長し、より利用しやすい制度とします。	1,868万円
耐震改修工事における生活資金融資あっせん利子補給補助金の特例	生活資金融資のうち住宅資金融資において、耐震補強、並びに耐震改修をされた方の融資に対する利子補給を、現行の2分の1から4分の3とします。(対象:稲城市木造住宅耐震診断助成制度を利用し耐震診断を受けた結果、補強や改修が必要と診断された家屋の所有者)	71万円
商工会発行「生き生き商品券」のプレミアム(補助)率拡大	生き生き商品券の発行総額を1億円に増額し、さらにプレミアム(補助)率を8%に拡大することで、消費拡大を図ります。	800万円
乳幼児歯科保健事業の充実	う蝕の原因の情報提供や卒乳指導を含めた摂食指導など、子育て支援としての乳幼児歯科保健事業を実施するため、歯科健診の実施歳児を拡充します。	364万円
妊婦健康診査の公費負担制度の拡大(回数増、里帰り出産も支援)	妊婦健康診査の公費負担回数を5回から14回とし、経済的負担の軽減を図ることにより、安心して妊娠・出産できる体制を確保します。里帰り出産など、都外で受診した場合についても公費で負担します。	7,156万円
健診の検査項目の拡大(心電図を追加)	健康診査は、20年度から生活習慣病予防に特化した健診内容となっていますが、これに心電図検査を追加することにより、市民の健康の維持増進を図ります。	1,544万円
義務教育就学児医療費助成制度の拡充	これまで保険診療自己負担分3割のうち1割分を市と東京都が負担していたものを拡充し、通院1回200円の自己負担を除き、保険診療自己負担分3割全額を市と東京都が負担します。	3,769万円
私立幼稚園保護者負担軽減補助金の増額	私立幼稚園に在籍する幼児の保護者に対する保育料の補助を、月額単価2,900円から3,200円に増額します。	10,535万円
在宅幼児教育費補助金の増額	幼稚園に在籍しておらず、かつ、保育所に措置されていない幼児の保護者に対する保育料の補助を、月額単価2,900円から3,200円に増額します。	46万円
図書館分館の開館時間拡大(夏休み期間)	分館開館時間は午前10時～午後5時ですが、利用者の多い夏休み期間の火～土曜日は午前9時～午後6時まで開館時間を拡大します。	1,034万円

主な見直し事業

事業	見直し内容	影響額
庁用自動車集中管理に伴う車両台数の削減と電動自転車・スクーターの導入	6台の庁用自動車を削減し、電動自転車・スクーターの導入を行うことにより、効率的な運用を図ります。	286万円
ごみ指定収集袋保管・配送業務の再編	ごみ指定収集袋の製造、保管、受付配送の業務をそれぞれ個別に契約し、市内業者などを活用することにより、効率的で安定した運用を図ります。	1,145万円
心身障害者(児)通所訓練交通費助成の見直し	市外の障害者(児)の通所施設に、施設からの送迎を受けないで通所している方への交通費の支給額を通所日数に応じての支給とします。通所1日あたり1千円、15日以上は1万5千円とします。	83万円
高齢者入院見舞金共済制度への補助事業廃止	社会福祉協議会における共済制度の廃止に伴い、市からの補助金を廃止します。	37万円
介護保険料所得段階の見直し	第4期事業計画(21年～23年)の介護給付見込み額を推計し、新保険料を定めます。現行の月額基準額4,400円を維持するとともに、6段階を実質8段階区分へ変更するなどの軽減措置を行います。	---

21年度予算

第三次 長期総合計画

6つの柱

問い合わせ 財政課財政係

1の柱 市民とともに進める 心豊かなまちづくり 11億8,572万円

- 【誰もが心豊かに暮らせるまちに】 883万円
心豊かな暮らし(市民憲章運動推進事業、人権啓発事業)
平和に暮らせるまち(平和都市宣言関係事業)
男女平等意識の醸成、男女共同参画への取り組み(女性・青少年関係事業、女性の悩み相談事業、女性問題を考えるフォーラム事業)
外国人への各種情報の提供と環境の整備(稲城市の手引き(外国語版)作成委託)
国際交流の推進(国際交流事業委託、日本語ボランティア養成(初・中級)講座、ユージン市教育交流事業交付金)
大空町との交流(契約旅館利用助成金、大空町児童との交流、芸術文化交流事業など)
- 【市民と協働のまちに】 7,319万円
地域活動の支援(地区会館・集会所指定管理料、自治会連合会事業補助金など)
Iのまちいなぎ市民祭事業 ふれあいまつり部門補助金
コミュニティづくりの推進(地域振興プラザ関係事業)
積極的な行政情報の提供(ホームページ(パソコン・携帯電話)運営経費など)
広報広聴活動の充実(広報の発行、市長への手紙など)
審議会や各種委員会などへの市民参加
- 【健全な行財政運営】 11億370万円
計画的な行政運営(企画事務、行政管理、アドボカシー室運営事業、電算管理運営費、職員管理費、(仮称)第四次長期総合計画策定事業など)
計画的な財政運営(各種基金の積立、市税の賦課徴収など)
広域的な行政展覧(一部事務組合負担金など)
行政サービスの向上(窓口サービスの充実、住民基本台帳ネットワークシステム、戸籍電算システムなど)

4の柱 環境にやさしく 安全で快適なまちづくり 31億8,898万円

- 【安全なまちに】 3億6,133万円
防災対策の推進(災害対策備蓄資機材の充実、コミュニティ防災センター管理業務、総合防災訓練の実施、自主防災組織育成事業など)
交通安全対策の推進(交通安全意識の普及・啓発、放置自転車対策の推進、街路灯・防犯灯整備管理など)
防犯対策の推進(のぼり旗・チラシ作成、学校セーフティ指導員報酬など)
消防・救急体制の充実(消防施設・設備の充実、消防団関係経費、救急救命士救命センター研修)
- 【共生のまちに】 16億4,465万円
環境との共生(違反広告物撤去協力員制度の実施、地球温暖化対策の推進、まちをきれいにする市民条例の実践活動、清掃思想普及及び塵芥処理など)
循環型社会づくり(分別収集の普及・啓発、廃棄物の減量化と処理体制の充実、エコセメント事業など)
公害の抑制(公害測定、河川水質調査、公害パトロールなど)
- 【快適なまちに】 11億8,300万円
住宅・住環境の向上(高齢者住宅改修費助成・高齢者居住支援事業助成など)
上下道の安全で安定した供給
下水道事業特別会計繰出金
下水道整備区域の拡大(第三期公共下水道事業、流域下水道事業)
下水道の適切な維持管理

2の柱 健康で安心して暮らせる おもいやりのあるまちづくり 88億4,118万円

- 【健康づくりと医療の充実したまちに】 9億25万円
健康づくりの環境整備(健康づくり推進事業、がん検診など)
生涯にわたる健康づくり(妊婦健診、乳幼児健診、予防接種(個別・集団)など)
地域医療体制の充実(保健・医療・福祉の連携強化、包括的な医療体制の確立)
市立病院の充実(健診・外来棟施設設計等業務委託、既存駐車場・看護師宿舎の解体撤去、新駐車場建設など)
救急医療体制の充実(救急情報の的確な把握と提供、休日急病診療事業など)
- 【社会福祉の充実したまちに】 61億1,982万円
福祉の環境整備(民生委員・保護司関係費など)
地域福祉推進基盤の整備(保健福祉推進委員会設置、社会福祉協議会運営費補助事業、福祉センター事業(指定管理料等)、災害見舞金など)
自立と社会参加の促進(老人福祉館運営費、稲城老人会館運営費補助金)
在宅サービスの充実とサービス基盤の整備(老人福祉関係事務事業、老人福祉施設整備・措置関係費、老人福祉週間事業、介護予防・地域支え合い事業、在宅高齢者支援事業など)
安心できる生活基盤の確保(高齢者住宅改修費助成、高齢者居住支援事業助成など)
生きがいに満ちた生活の実現(権利擁護センター事業、はつらつワーク稲城運営費補助事業、シルバー人材センター運営費補助事業など)
障害者(児)の生活支援(心身障害者福祉関係事務事業、心身障害者福祉手当等関係事業、心身障害者団体等補助事業、在宅心身障害者ヘルプ事業など)
障害者(児)の社会参加と自立の支援(在宅心身障害者ヘルプ事業(外出支援)、地域生活支援事業障害者相談支援等事業など)
保育事業の充実(第一～第五保育所運営、第六保育所指定管理料、私立保育所運営委託、認証保育所運営等補助、病後児保育運営委託、認定こども園運営費等補助など)
子育て支援サービスの充実(児童手当、乳幼児医療費助成、ファミリー・サポート・センター運営事業、子ども家庭支援センター運営事業、緊急ショートステイ事業委託など)
子どもの健全育成事業の充実(児童館運営事業、学童クラブ運営・整備事業)
ひとり親家庭の支援(ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業委託、ひとり親家庭等医療費助成など)
低所得者福祉の充実(生活保護事業、生活保護就労支援員の配置など)
- 【社会保険制度の充実したまちに】 18億2,111万円
国民健康保険事業特別会計繰出金
後期高齢者医療特別会計繰出金
介護保険特別会計繰出金など

5の柱 水と緑につつまれた やすらぎのあるまちづくり 25億3,843万円

- 【安心して暮らせるまちに】 22億1,417万円
計画的な土地利用の推進(都市計画審議会)
土地利用の適切な運用(生産緑地地区都市計画変更図書策定委託)
市街地の整備(榎戸、矢野口駅周辺、稲城長沼駅周辺、南多摩駅周辺、南山東部、上平尾、小田良土地区画整理事業)
体系的な道路網の整備(道路改修整備、道路維持補修など)
鉄道交通の充実(南武線連続立体交差事業)
バス交通の充実(バスの運行)
河川・水路の整備と保全(排水門管理・雨水排水ポンプ場管理・公水路等浚渫など)
- 【うるおいとゆとりのあるまちに】 3億2,426万円
公園の整備(上谷戸緑地体験学習館等指定管理料、市内公園等整備など)
緑地の整備、創出(自然環境保全緑化推進事業など)
みちを楽しむまちづくり(三沢川側道照明設置工事)

3の柱 共に学びふれあいのある まちづくり 33億3,949万円

- 【誰もがいきいきと学び続けられるまちに】 220万円
生涯学習推進事業の充実(宅配便講座、子ども100ポイントラリー、ICカレッジの運営)
生涯学習の機会の充実(学校開放事業)
- 【子どもたちの生きる力と心を育てるまちに】 25億4,545万円
幼児教育に対する援助(私立幼稚園就園奨励費補助、保護者負担軽減補助など)
教育内容の充実(教育指導に関する経費、教育相談関係費など)
教員研修と教育資料の充実(教育研究・研修、教育指導行事に関する経費など)
学校施設・設備の充実(六小・一中体育館大規模改修工事、小・中学校管理運営など)
学校給食の充実(学校給食共同調理場管理運営、調理運営(調味料補助等))
学校施設の買取(ニュータウン内小・中学校等の買取事業)
障害児教育の充実(特別支援学級等補助員賃金・介助員報酬)
青少年育成環境の整備(青少年委員関係費、青少年育成地区委員会関係費、稲城ふれあいの森運営)
青少年の社会参加の促進(青少年指導者養成事業)
- 【学習やスポーツを通じたふれあいのあるまちに】 7億7,804万円
生涯学習の拠点としての社会教育基盤の整備充実(プラザ整備運営事業)
公民館事業等の充実(社会教育活動振興、公民館主催事業、視聴覚教育事業など)
図書館サービス事業の充実(中央図書館等運営、城山体験学習館管理運営、赤ちゃんへの絵本支援事業など)
スポーツ・レクリエーション活動の振興(スポーツ教室、体力づくり運動推進、市民体育大会運営、市民プール運営、市立公園内運動施設管理運営など)
公共施設の弾力的運営(体育館個人開放など)
- 【歴史と文化を大切にすまちに】 1,380万円
文化・芸術活動の推進と支援(文化祭・芸術祭部門補助金、サロンコンサート補助金など)
文化財保護思想の普及(文化財講座、郷土資料室の展示公開など)
文化財資料の収集と調査(文化財調査報告書等印刷など)

6の柱 市民生活の活力を支える にぎわいのあるまちづくり 1億6,389万円

- 【身近で生活にとけこむ産業の振興】 1億4,160万円
都市における農業の支援(振興施策の確立、都市農業の推進・育成・共存、環境保全型の農業の推進など)
市民に親しまれる農業の推進(市民と歩む活力ある農業推進協議会、ファミリー農園整備委託、市民交流事業補助金、農産物品評会経費など)
都市における近代的な工業・建設業の育成(小口事業資金融資あっせん制度利子補給補助金、信用保証料補助金など)
活気にあふれた商業地(商店街振興経費)
市民に親しまれる商業の育成(商工会経費(補助金)、Iのまちいなぎ市民祭 産業まつり部門補助金、公衆浴場助成事業)
活力ある産業の育成(中小企業勤労者福祉サービスセンター事業、就労支援事業、はつらつワーク稲城運営費補助事業)
観光資源の創出(観光推進事業、地域ブランド創出事業補助金(梨ワイン)姉妹都市観光発信補助金など)
- 【豊かな地域生活のまちに】 997万円
自立した消費生活の推進(消費者団体などへの支援、消費者意識の高揚)
消費生活の向上(生活資金融資あっせん事業、消費者ルーム運営事業など)
- 【高度情報化社会に対応したまちに】 1,232万円
情報を伝える手段の拡充(ホームページ(パソコン・携帯電話)運営経費「稲城市のお知らせ」作成・放送委託)

注)これらの課題別施策は、長期総合計画の項目に基づき抜粋表記したものです。よって、項目ごとの内容・金額などが重複している場合があるとともに、全項目の合計は総予算額とは異なります。

「意見をお寄せください！」 （仮称）第四次稲城市長期総合計画 市民会議提言書〔中間取りまとめ〕

「（仮称）第四次稲城市長期総合計画市民会議提言書〔中間取りまとめ〕」（左記参照）について、「意見をお寄せください。」

募集期間 4月15日（水）～5月13日（水）
応募方法 メール sekaku@city.inagi.lg.jp、ファクス（☎377・4781）、郵送、持参（市役所5階）の、いずれかの方法で「応募ください。」

応募の際は、件名に「市民会議意見募集」と明記してください。

市では、新たな長期総合計画の策定を市民参加を進めるため、団体やグループとの懇話会を行います。

意見に対する個別回答は行いません。
応募・問い合わせ 企画部 長期総合計画担当

（仮称）第四次稲城市長期総合計画 市民会議提言書〔中間取りまとめ〕

（仮称）第四次稲城市長期総合計画は、23年度を初年度とする、おおむね10年間の計画です。市民会議は、市の呼びかけに応じた29人の参加者で20年7月に発足しました。市民の視点で本計画に関する提言書を作るため、15回の会議を開き、中間のとりまとめを行いました（下表参照）。今後、6月には提言書をまとめ、市長に提出する予定です。

提言書〔中間取りまとめ〕閲覧場所 市ホームページ、市役所1階行政情報コーナー、平尾・若葉台出張所、地域振興プラザ、各文化センター、総合体育館、中央図書館

提言書〔中間取りまとめ〕の概要

第1分科会「みどり」	森林、景観、市街地の緑、魅力ある公園、河川のみどり、農地
第2分科会「福祉」	医療体制の維持・拡充、障害者福祉の充実、高齢者福祉の充実、子育て支援、教育行政、男女平等参画社会
第3分科会「地域コミュニティ」	コミュニティづくり、安心安全、共に学ぶまち（地域）づくり、健康なまち（地域）づくり、交通の整備、働く場と賑わい

監査委員に選任 軍司 信一氏

3月31日付で任期満了となつた監査委員の川名紘氏の後任として、3月の第1回市議会定例会において同意を得た軍司信一氏が選任されました。任期は、25年3月31日までの4年間です。



軍司 信一氏

4月1日から4年間
問い合わせ 監査事務局
監査係

地域安全情報

振り込み 定額給付金の給付を 詐欺 かたる電話に注意！

一部の都道府県において、市役所職員を名乗る者から「定額給付金の給付」をかたったような電話がかかってきたという相談が警察署に入っています。「定額給付金の給付に必要なので、家族構成や個人名、口座番号を教えてください」「定額給付金に関する通知を送ったが届いていないか、届いていなければ電話をしてほしい」「定額給付金の給付のための手続きが混み合っているの、通帳を持ってATM（金融機関などの現金自動預け払い機）まで行き、電話をしてほしい」このような電話がかかってきた場合は、すぐに110番通報をしてください。問い合わせ 多摩中央警察署 ☎375-0110、市役所総務課総務係

市役所窓口 アンケートを実施

市職員の窓口対応を、より良いものにするため、市役所の窓口を利用された方の満足度を調査しました。調査結果の一部を紹介します。この結果を窓口サービスに反映できるように、努めてまいります。

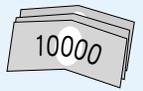
市役所窓口アンケート結果

調査項目	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
職員の態度・対応	58%	19%	21%	1%	0%	1%
職員の説明	54%	21%	22%	1%	0%	2%
待ち時間	51%	20%	23%	3%	0%	3%
窓口の雰囲気・環境	45%	18%	32%	3%	0%	2%

笑顔が欲しい。
問い合わせ 企画部政策室

予告 ご利用ください

6月1日（月）発行
稲城市商工会「稲城生き生き商品券」
～1万円で1万1千円分のお買い物！～
詳しくは、広報いなぎ5月15日号などでご案内します。



定額給付金・子育て応援特別手当

▷問い合わせ 定額給付金等給付担当（月～金曜日、第2日曜日・第4土曜日、地域振興プラザ2階）☎377-4501



定額給付金や子育て応援特別手当の申請代行業者を語り、お金をだまし取る詐欺に注意してください！

4月13日（月）に申請書を発送しました 振り込みは、5月中旬から順次行います

定額給付金と子育て応援特別手当の申請書は、別々に発送しています。

大量発送のため、届くまでに時間がかかることがあります。該当すると思われる方で、4月末までに申請書が届かない場合は、定額給付金等給付担当（☎377-4501）にお問い合わせください。

申請書の記載内容を確認し、振込先の口座番号など必要事項を記入のうえ、本人確認できるものと通帳などの写しを添えて同封の返信用封筒で返送してください。

市で、返送された申請書の内容などを審査し、不備（ ）がなければ、振り込み手続きを行います。

書類などに不備があった場合は「郵送」で問い合わせをします。振り込み詐欺の被害を防止するため、市役所から電話をかけることは一切ありません。

市で、指定口座への振り込み手続きを行います。手続きが完了した方には支給決定通知書を郵送し、振込日などをお知らせします。

よくある質問

問1 定額給付金は、どのような人がもらえるのですか。

答1 基準日の2月1日現在、稲城市に住民

登録のある方、もしくは外国人登録（一定の要件あり）をされている方が対象で、受給者（申請者）は、給付対象者の属する世帯主（外国人の場合は給付対象者本人）です。

問2 定額給付金の給付額は、いくらですか。

答2 19歳から64歳までの方は一人につき1万2千円です。18歳以下（平成2年2月2日以降生まれ）の方と65歳以上（昭和19年2月2日以前生まれ）の方は2万円です。

問3 子育て応援特別手当は、どのようなものですか。

答3 子育て応援特別手当も国の決定に基づく「生活対策」の一環です。子供が多い世帯の経済的負担を軽減することを目的に、幼児教育期の第2子以降の子供に対し支給するものです。定額給付金と同じように、支給は今回限りです。

問4 子育て応援特別手当は、どのような人がもらえるのですか。

答4 20年度に、小学校就学前3学年（平成14年4月2日～平成17年4月1日生まれ）に該当するお子さんのうち、第2子以降のお子さんが対象です。受給者（申請者）は、対象となるお子さんと同じ世帯の世帯主です。

第2子の判定は、18歳以下（平成2年4月2日以降生まれ）のお子さんの中から年齢順

に第1子、第2子と数えます。

対象となる第2子以降のお子さんとは18歳以下の第1子が別居（転居）している時は、住民基本台帳では把握しきれないため、申請書が届きません。該当すると思われる方は、定額給付金等給付担当まで連絡してください。また、その場合、同じ人に扶養されていることを確認しますので、申請の際には健康保険証や扶養控除申告書の写しなどが必要です。

問5 子育て応援特別手当の支給額はいくらですか。

答5 対象となるお子さん一人につき3万6千円です。

問6 定額給付金や子育て応援特別手当は、現金で受け取ることはできますか。

答6 原則、口座振込による受け取りをお願いします。やむを得ない事情がある方には、窓口で現金でお渡しします。ただし、口座振込の方を優先して処理するため、受け取りの時期は7月以降になります。

問7 子育て応援特別手当を受け取ると、定額給付金は受け取れなくなりますか。

答7 子育て応援特別手当と定額給付金は趣旨・目的が異なりますので、それぞれ受け取れます。

支給方法が変わります 特殊疾病患者見舞金

難病に罹患して、治療中の方に特殊疾病患者見舞金を支給します。
対象疾病 下記のとおり
心身障害者福祉手当、児童育成手当条例に基づく障害手当の受給者は、対象になりません。
見舞金額 月額5,000円
支給方法 年3回の口座振込(6月、10月、2月に前月までの分を支給)申請に必要なもの 東京都発行の医療券のコピー(必要に応じて特殊疾病に罹患していることを証明する医師の診断書) 特殊疾病患者見舞金支給認定申請書(現在受給している方には、申請書でなく現況届を郵送します。21年度に関しては年2回(5月、10月ごろ)現況届を提出していただきます)
問い合わせ 障害福祉課障害福祉係

対象疾病

人工透析を必要とする腎不全、先天性血液凝固因子欠乏症等、スモン、ペ-チェット病、重症筋無力症、全身性エリテマト-デス、多発性硬化症、再生不良性貧血、強皮症・皮膚筋炎及び多発性筋炎、筋萎縮性側索硬化症、特発性血小板減少性紫斑病、サルコイド-シス、高安病、結節性動脈周囲炎、潰瘍性大腸炎、ピュルガ-病、天疱瘡、パ-キンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病)、劇症肝炎、脊髄小脳変性症、モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)、強直性脊椎炎、悪性関節リウマチ、悪性高血圧、クロ-ン病、ネフロ-ゼ症候群、アミロイド-シス(原発性アミロイド症)、後縦靭帯骨化症、ハンチントン病、ウェゲナ-肉芽腫症、特発性拡張型心筋症、母斑症、多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリ-ブ橋小脳萎縮症、シャイ-ドレ-ガ-症候群)、シェ-グレン症候群、多発性嚢胞腎、表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)、膿胞性乾癬、特発性門脈圧亢進症、広範脊柱管狭窄症、ミオトニ-症候群、原発性胆汁性肝硬変、特発性好酸球増多症候群、重症急性膵炎、特発性大腿骨頭壊死症、混合性結合組織病、びまん性汎細気管支炎、ミトコンドリア脳筋症、原発性免疫不全症候群、遺伝性(本態性)ニュー-ロパチ-、特発性間質性肺炎、プリオン病、網膜色素変性症、遺伝性QT延長症候群、原発性肺高血圧症、先天性ミオパチ-、神経線維腫症、網膜脈絡膜萎縮症、進行性筋ジストロフィー、ウィルソン病、慢性炎症性脱髄性多発神経炎、骨髄線維症、亜急性硬化性全脳炎、バッド-キアリ症候群、特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)、ライソゾーム病(ファブリー病を含む)、副腎白質ジストロフィー、脊髄性筋萎縮症、アレルギー性肉芽腫性血管炎、原発性硬化性胆管炎、肝内結石症、自己免疫性肝炎、特発性肥大型心筋症(拡張相)、成人ステイ-ル病、脊髄空洞症74疾病

ご存じですか 高齢者関連サービス

▷申請・問い合わせ 高齢福祉課高齢福祉係

緊急時にボタンを押すと、稲城消防署に通報され、あら

高齢者緊急通報システム

火災発生時の緊急事態に備えて、住宅用火災警報器(室内の火災を熱または煙で感知し、屋内外に警報音で知らせる機器)を対象の方に給付します。

既に高齢者緊急通報システム装置が設置されている世帯

対象 おおむね65歳以上での毎週金曜日(全10回) 時間 午前9時30分~11時

高齢者火災安全システム

火災発生時の緊急事態に備えて、住宅用火災警報器(室内の火災を熱または煙で感知し、屋内外に警報音で知らせる機器)を対象の方に給付します。

探索用機器の貸し出し

衣服などに付ける位置情報小型端末機器を貸し出します。徘徊高齢者の生活の安全を図るうえで、位置情報サービスの提供や緊急対応員による探索・保護などの協力が受けられます。

転倒骨折予防教室

転倒による骨折は、「寝たきり」の原因になることがあり、筋力やバランス能力を向上させることが大切です。ぜひ参加してください。

生活支援ハウス

転倒による骨折は、「寝たきり」の原因になることがあり、筋力やバランス能力を向上させることが大切です。ぜひ参加してください。

心身障害者福祉手当

精神疾患の治療のため、病院または診療所(薬局を含む)に受診した際の医療費の自己負担分を軽減する制度です。

自立支援医療費制度

精神疾患の治療のため、病院または診療所(薬局を含む)に受診した際の医療費の自己負担分を軽減する制度です。

民営バス

身体障害者手帳、愛の手帳(療育手帳)、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は、民営バス(市内循環バス)にバス、京王バス、小田急バスなどをご利用の際に、乗務員に手帳を提示することで運賃が半額になります。

ひとり親家庭 入学費用の一部を援助

ひとり親家庭の児童・生徒が小学校または中学校へ入学するために必要な費用の一部を援助します。

助成します 脳ドック検診料

受診日現在、後期高齢者医療制度に加入して、納期限の到来した後期高齢者医療保険料を完納している方を対象に、脳ドック検診料の一部を助成します(受診日の属する年度につき1回)。

子ども緊急 ショートステイ事業 ガスタートします

保護者の方が出産や病気、育児疲れ・不安などでお子さんを一時的に育てることが困難になった時に、市が委託する児童養護施設にお子さんを預けることができます。

65歳～74歳の国民健康保険に加入している世帯主の方
10月から国民健康保険税の口座振替を選択しない方の年金天引きが始まります

▷問い合わせ
 保険年金課国民健康保険係

公的年金受給者の納税の便宜や、市町村における徴収の効率化を図る観点から、10月から国民健康保険税の年金天引き(特別徴収)が導入されます。対象の方は年金から国民健康保険税が差し引かれます。対象 65歳～74歳の世帯主の方で、次のすべてに該当する方

る方 世帯主が国民健康保険の被保険者となっている方
 世帯内の国民健康保険の被保険者の方全員が65歳以上の方
 特別徴収の対象となる年金の年額が18万円以上であり、国民健康保険税が介護保険料と合わせて、年金額の2分の1を超えない方

緑のカーテン モニター募集

ツル植物をネットにはわせ、室内への夏の暑い日差しを遮ることで、冷房の効率化を図る「緑のカーテン」を実践するモニターを募集します。モニターの方には、植物の種子・ネット・腐葉土などを配布し、実践の結果を写真・アンケートで報告していただきます。

モニター期間 緑のカーテン設置後～9月末ごろ
 ツル植物の種類 アサガオ、ゴーヤ、フウセンカズラ
 募集世帯数 100世帯
 定員になり次第、募集を終了します。

応募方法 事前に電話で名前・住所・電話番号をお知らせ
 市民活動サポートセンターでは、NPO「子どもの森」芸術文化振興基金などの協力

商工会 だより
 応募・問い合わせ
 ☎377・1666

稲城生き生き商品券 取扱店募集！
 稲城市商工会では、10%プレミアム付き商品券を1億円分発行します。そこで、商品券取扱店業種は問いませんが、応募します。なお、取扱店は広報いなぎやチラシなどで市民にお知らせします。

ウグリス 財団
 問い合わせ
 ☎331・7156

野草の展示と野草写真展
 期間 4月17日(金)～19日(日)
 時間 午前10時～午後4時
 会場 総合体育館ロビー
 協力 大丸野草の会

福祉協議会から


生活安定化総合対策事業
 東京都が一定所得以下の方を対象に実施する「生活安定化総合対策事業」の相談窓口を稲城市社会福祉協議会に開

設けています。生活や就職に関する相談を行い、職業訓練や生活資金の貸し付けなど生活安定や正規雇用に向けた支援を行います。

生活安定に向けた技能取得などを行う支援メニューを紹介いたします。
生活サポート特別貸付事業
 東京都が指定する就職に向けた訓練や講座を受講した方を対象に生活資金無利子貸し付けや就職等一時金無利子貸し付けを行います。
チャレンジ支援貸付事業
 中学3年生または高校3年生を扶養されている方を対象に、学習塾などの受講料貸し付けや大学受験料貸し付けを行います。

パソコン講習会

コース	期日	時間	受講料 テキスト代
初めてのパソコン(オフィス2003使用)	5月12日(火)・13日(水)	午前9時30分～12時30分	3,000円 無料
エクセル2007活用講座	5月14日(木)・15日(金)	午後1時30分～4時30分	3,000円 無料

では、家計簿作成します。

シルバー人材センター
 問い合わせ
 ☎377・2212

パソコン講習会
 コース・期日・受講料など左表のとおり
 ウインドウズXP搭載のノートパソコンを使用します。
 詳細は、各文化センターにあるポスター・チラシまたはホームページをご覧ください。

定員 各コース15人
 会場 地域振興プラザ
 車での来場はご遠慮ください。
 対象 18歳以上の方
 は文字入力のできる方
 お子さんを連れての受講はご遠慮ください。
 応募方法 往復はがきに希望コース名(複数可)・住所・氏名(フリガナ)・年齢・性別・電話番号を記入のうえ応募してください。

応募期限 4月22日必着
 結果は5月初めごろまでに
 はがきで通知します。
 応募・問い合わせ シルバ
 人材センターパソコン講習
 会係 〒206・0802稲城市東長沼
 2112の1
 絵手紙教室
 期日 金曜日(月2回)
 時間 午前10時～正午
 会場 地域振興プラザ

みんなのコーナー
 稲城手づくり市民まつり
 2009
 期日 5月4日(祝・月)・5日(祝・火)
 時間 午前10時～午後6時
 (5日は午後4時まで)
 会場 城山公園
 駐車場はありません。
 内容 リサイクルと分か

動サポートセンター(協働推進課協働推進係)
矢野口駅西 自転車等駐車場のバイク利用条件が変わりました
 矢野口駅西自転車等駐車場は19年4月の供用開始以来、大変多くの方に利用していただいています。当駐車場では、利用者のニーズに合わせるため、4月1日からバイク利用条件の「50cc以下」を、「125cc以下」に変更しました。この変更により黄色、ピンクナンバーのバイクも利用できるようになります。利用料金は変更ありません。ぜひご利用ください。
 問い合わせ 管理課交通対策係

急募 市嘱託員
 報酬額が上がりました
 職種(資格) 保育士(保育士) 学童クラブ指導員(保育士・教員・児童厚生員のいずれか)
 勤務日数 週5日
 勤務時間 1日6時間45分
 勤務場所 市施設
 報酬 月額19万3400円
 社会保険・雇用保険加入
 任用期間 年度単位(任用開始日は応相談)
 任用の更新制度あり
 応募方法 申込書・質問票(人事課、平尾・若葉台出張所、各文化センター)で配布。市ホームページからも入手できます(を持参または郵送し

てください。
 応募・問い合わせ 人事課 人事給与係
 募集します
臨時職員(学童クラブ指導員)
 職種 学童クラブ指導員
 時間 小学校1学年から3学年の学校終了時から午後6時まで
 勤務場所 市内12カ所の学童クラブ
 募集人員 若干名
 賃金 市規定による
 選考方法 面接
 応募方法 各文化センターに履歴書(市販のもの。写真付き)を持参してください。
 応募・問い合わせ 各文化センター

ち合いのフリーマーケット
 多彩な商品のまつりの演出
 心のこもった手づくり飲食
 売店 エンジョイスポーツ
 新鮮で安全な稲城産野菜販売コーナー ボランティア活動・市民活動にふれあう展示
 主催・問い合わせ 稲城手づくり市民まつり2009実行委員会(角田) ☎090・3143・0943
 端午の節句・五月人形展
 期間 5月2日(土)～5日(祝・火)
 時間 午前10時～午後4時
 会場 上谷戸緑地体験学習館
 3日(祝・日)は柏餅づくりとお楽しみ撮影もあり(無料)。
 主催 坂浜自治会
 問い合わせ 上谷戸緑地体験学習館 ☎331・7112

Health みんなの健康

申し込み・問い合わせ

稲城市保健センター
〒206-0804 稲城市百村112の1
☎378-3421
☎378-3421

胃がん・乳がん検診

胃がん検診

対象 市内在住で、検診日に現在35歳以上の方(原則1年に一度の受診)
胃の手術をした方、治療中、妊娠中の方を除く。当日の体調や問診により、受診できない場合があります。
期日 5月31日(日)
人数 50人
検査方法 胃部エックス線

がん検診希望

1. 月日()
2. 住所
3. 氏名
4. 生年月日(年齢)
5. 電話番号
6. 前回検診年月日(分かる範囲で)

撮影検査
受診料 1330円
保険証に自己負担割合が1割と記載のある方は440円(保険証の提示が必要です)
乳がん検診(検車)
対象 21年度40歳以上で、申し込み記入例
申し込み記入例
照のうえ、はがき、封書、電子申請サービス(https://www.tokyo.go.jp/)、直接参加のいずれかの方法で申し込みください。
申込期限 4月22日必着

日	曜日	内容	時間	場所
4/15	水	1歳6カ月児健康診査(19年9月生まれ) 消費者相談 住宅リフォーム相談 女性の悩み相談 年金相談 心配ごと相談 高齢者・障害者の権利擁護相談	10時~正午・1時~3時 1時30分~4時30分(予約必要) 10時~4時(前日までに予約) 9時~正午・1時~4時 10時~正午 1時30分~4時30分(予約随時)	保健センター 消費者相談室 経済課消費生活係 協働推進課女性青少年係 保険年金課年金係 福祉センター 福祉センター
16	木	3歳児健康診査(18年3月生まれ) 1歳児歯科健診(20年3月生まれ) 法律相談 税務相談 年金相談	9時~正午(前日予約) 1時30分~4時30分(前日予約) 9時~正午・1時~4時	保健センター 保健センター 経済課消費生活係 経済課消費生活係 保険年金課年金係
17	金	消費者相談 人権・身の上相談 年金相談	10時~正午・1時~3時 1時30分~4時30分(前日までに予約) 9時~正午・1時~4時	消費者相談室 経済課消費生活係 保険年金課年金係
18	土			
19	日	+ 休日急病診療所 長峰クリニック(長峰)9時~5時 ☎350-7171		
20	月	消費者相談 年金相談	10時~正午・1時~3時 9時~正午・1時~4時	消費者相談室 保険年金課年金係
21	火	定期健康相談 法律相談 消費者相談 くらしの書類作成相談 年金相談	9時~11時(前日までに予約) 9時~正午(前日予約) 10時~正午・1時~3時 1時30分~4時30分(前日予約) 9時~正午・1時~4時	保健センター 経済課消費生活係 消費者相談室 経済課消費生活係 保険年金課年金係
22	水	消費者相談 不動産相談 年金相談 年金相談	10時~正午・1時~3時 1時30分~4時30分(前日予約) 9時~正午・1時~4時 9時~正午・1時~4時	消費者相談室 経済課消費生活係 保険年金課年金係 平尾出張所
23	木	法律相談 年金相談	9時~正午(前日予約) 9時~正午・1時~4時	経済課消費生活係 保険年金課年金係
24	金	消費者相談 年金相談	10時~正午・1時~3時 9時~正午・1時~4時	消費者相談室 保険年金課年金係
25	土	+ 休日窓口 8時30分~5時(正午~1時を除く) 市民課、保険年金課(国民健康保険係のみ)、課税課、納税課		
26	日	+ 休日急病診療所 簡野クリニック(平尾)9時~5時 ☎331-8570 + 休日薬局 ヒロタ薬局平尾店(平尾)9時~5時 ☎331-2796		
27	月	消費者相談 年金相談	10時~正午・1時~3時 9時~正午・1時~4時	消費者相談室 保険年金課年金係
28	火	3カ月~4カ月児健康診査(20年12月生まれ) 定期健康相談 法律相談 消費者相談 年金相談	9時~11時(前日までに予約) 9時~正午(前日予約) 10時~正午・1時~3時 9時~正午・1時~4時	保健センター 保健センター 経済課消費生活係 消費者相談室 保険年金課年金係
29	水	昭和田の日 + 休日急病診療所 向陽台クリニック(向陽台)9時~5時 ☎378-6677 + 休日薬局 徳永薬局向陽台店(向陽台)9時~5時 ☎370-7255		
30	木	1歳児歯科健診(20年3月生まれ) 年金相談	9時~正午・1時~4時	保健センター 保険年金課年金係

経済課消費生活係の相談で(前日予約)のもの、前日の8時30分から5時まで予約を受け付けます(先着順) ☎378-2286
消費者相談は電話(☎378-3738)でも相談できます。
福祉センターの相談予約は、(☎378-3366)です。

20年度未受診の方

期日 6月13日(土)
人数 60人

検査方法 視・触診検査、乳房エックス線撮影(マンモグラフィ)検査
受診料 2380円
保険証に自己負担割合が1割と記載のある方は790円(保険証の提示が必要です)
共通事項
受診料の免除 次に該当する方 生活保護受給世帯の方 市税非課税世帯の方 中国残留邦人などの方
会場 保健センター
申し込み方法 記入例を参照のうえ、はがき、封書、電子申請サービス(https://www.tokyo.go.jp/)、直接参加のいずれかの方法で申し込みください。
申込期限 4月22日必着

新たに開始します

2歳児歯科健診 2歳6カ月児 歯科健診

1歳6カ月児歯科健診後、まだ歯医者さんで歯科健診や予防処置を受けていないお子さんやお子さんの食べ方が気になる方を対象に、新たに歯科健診を実施します。
2歳児歯科健診
対象 19年3月生まれ
期日 4月22日(水)
申し込み記入例

2歳児(2歳6カ月児) 歯科健診申込

健診日 月 日

幼児氏名

保護者氏名

生年月日

住所

電話番号

申し込み記入例

抽選結果は期日の1週間前までに通知します。

2歳6カ月児歯科健診

対象 18年9月生まれ
期日 4月24日(金)
共通事項
会場 保健センター
受付時間 午前9時20分~10時30分
持ち物 母子健康手帳、歯ブラシ、コップ、ハンドタオル

内容 歯科健診・個別相談
申し込み方法 記入例を参照(表面にも、歯科健診申込と明記)のうえ、はがき、封書、持参のいずれかの方法で申し込みください。
申込期限 4月17日必着

妊婦健康診査

受診費助成金

14回に増えました

東京都外の医療機関または助産所で妊婦健康診査を受診した妊婦に、「妊婦健康診査受診費助成金」を交付します。窓口に申し込んでください。

対象 東京都外の医療機関または助産所で4月1日以降に妊婦健康診査を受診した妊婦
3月31日までに受診した妊婦健康診査を除く。
助成金額 妊婦健康診査
1回目8500円、2回目以降5千円 妊婦超音波検査5300円
妊婦健康診査1回目の助成は、東京都外の医療機関に限ります。
申込期間 出産日から1年以内
申込窓口 保健センター(平尾・若葉台出張所でも可)



第2部 No.311
ヒブワクチン

乳幼児の細菌性髄膜炎を引き起こす「インフルエンザ菌b型(Hib)」の予防ワクチンが昨年12月に発売されました。現在は医療機関より製造販売元に発注して入手するという方法が取られており、最近では輸入量を上回るお申し込みがあり、お申し込みいただいても2カ月位はお待ちいただくような状態です。ヒブは20~100人に一人の割合で鼻やのどにいる菌で髄膜炎や肺炎、喉頭蓋炎等、敗血症を引き起こします。2歳以下の乳児では重症化しやすく、ワクチンがヒブ感染予防策として、唯一可能な手段といわれています。乳幼児の細菌性髄膜炎を起す細菌はいくつかありますが、原因の半分以上を占めるのがヒブです。ヒブによる細菌性髄膜炎は5歳未満の乳幼児がかかりやすいと言われています。

日本の年間患者数は約600人報告され、治療を受けても約5%が死亡、約25%に発育障害や聴力障害、てんかんなどの後遺症が残ります。ワクチンをお申し込みの際に多いご質問は副反応についてで、多くみられるのは接種部位の発赤や腫れで、発熱が数%と言われています。ワクチン製造段階での牛の成分の使用については世界100カ国以上で使用され、BSE(伝達性海綿状脳症)の報告は一例もないと言われています。接種対象者接種時期は生後2カ月以上5歳未満で、標準としては2カ月から7カ月未満まで接種開始、初回免疫は通常3回いずれも4~8週間隔で接種を受け、1年後にもう1回追加接種をします。7カ月以上12カ月未満は初回2回で1年後に追加接種、1歳~5歳未満の場合は通常1回接種です。任意接種のためご希望の方は自費で接種することができます。ご希望の方は各医療機関にお問い合わせください。
稲城市医師会
渡辺 久仁子

お詫びと訂正

広報いなぎ4月1日号8面「乳がん・子宮がん検診」の医療機関申し込み方法中、市立病院(中略)☎377-0931、市立病院(中略)☎377-0931の誤りでした。お詫びして訂正いたします。